

男女共同参画推進連携会議「次世代への働きかけ」チーム第3回会合議事概要

1. 日 時 : 平成31年1月30日(水) 10:00~12:00
2. 場 所 : 中央合同庁舎8号館4階416会議室
3. 議 事 : (1) 各種連絡・情報提供
 - ・「NPO法人Nプロジェクトひと・みち・まち」の紹介
(女性参政権を活かす会共同代表 富澤由子議員)
 - ・「WAW! 2019/W20」について
(内閣府男女共同参画局総務課企画官 吉田 真晃)(2) 防災ガール代表理事とのトークセッション
 - (一般社団法人防災ガール代表理事 田中 美咲氏)
 - (徳倉 康之 コーディネーター)
 - (大崎 麻子 副コーディネーター)(3) 意見交換「これまでのヒアリング等を踏まえてチーム会議員としてどのように活動を進めていくか」
4. 出席者 :
 - (有識者議員)
飯田議員、石井議員、大石議員、大崎議員、大津議員、徳倉議員、林議員、室伏議員、山谷議員
 - (団体推薦議員)
田丸議員、花岡議員、降旗議員、潮議員、木下議員、富澤議員、東福寺議員、岩田議員、赤池議員、海野議員、喜名議員、山下議員、飯田議員、功刀議員代理、小倉議員、松野悦子氏(西立野議員代理)、梶原議員、名取議員、太田議員、清塚議員
 - (発表者)
・一般社団法人防災ガール代表理事 田中 美咲氏
 - (事務局)
池永 内閣府男女共同参画局長、岡本 内閣府大臣官房審議官(男女共同参画局担当)、栗田 内閣府男女共同参画局総務課長、吉田 内閣府男女共同参画局総務課企画官、上西 内閣府男女共同参画局政策企画調査官

5. 議事概要

○議事1について、「NPO 法人Nプロジェクトひと・みち・まち」について資料1に基づき女性参政権を活かす会共同代表 富澤由子議員より情報提供が行われた。その後、「WAW! 2019/W20」について内閣府男女共同参画局総務課企画官 吉田 真晃より発情報提供が行われた。

○議事2について、一般社団法人防災ガール代表理事 田中 美咲氏より一般社団法人防災ガールにおけるこれまでの取組内容について発表が行われた後、当該発表を踏まえ徳倉コーディネーター及び大崎副コーディネーターとトークセッションを行った。本日のトークセッションは次世代の当事者で社会的課題に対して活動を行っている団体の取組についてトークセッションを通じて認識を深め、当チーム会の各議員の所属団体でどのように活動を進めていくか、次世代へ自分たちの活動をどのように伝えていくかについて議論を行いたい旨の説明が徳倉コーディネーターより発言があり、その後の主なやり取りは以下のとおり。

- ・「防災ガール」という名前にした理由

- ⇒設立当初のころには「森ガール」、「山ガール」などの言葉があり、防災のことを考える女性がオピニオンリーダーのように存在していることで広まりやすくなるきっかけを作りたいと考えた。より多くの方が防災に興味を持ってもらうことを意識した。結果としても、WEBメディア等に取り上げられやすく発信してもらいやすかった。

- ・「防災ガール」で活動している人では10代の若者もいるが、何か意識していることはあるか。

- ⇒自分たちがどのような団体かということ発信し続けて興味を持った瞬間に情報に触れることができるようにすること、また若い人たちが使っているメディアや課外学習の現場に行くなどしている。

- ・現在の「防災ガール」はボランティアの方がほとんどであり、そういった場合はモチベーションの維持についてはどのように工夫されているか。

- ⇒「防災をこれからのフェーズへ」というビジョンは前提として共有しているが、それぞれが行うプロジェクトについては上からの指示を一切せず、やりたいことが責任をもって行えるようにしている。また「半年更新制度」ということで、半年に一度続けていくか続けていかないかを判断できるようにしている。

- ・若い方をマネジメントしていくにあたって工夫されている点は。

- ⇒若い人をターゲットとして伝えたいことがあるときには、そのターゲットに近い年齢の人が最終判断を行うようにしている。また、「正解」を上の方が決めないようにして「今、ここにはない答え」を見つけに行くというスタンスでいる。

○議事2を踏まえて、「これまでのチーム会でのヒアリング等を踏まえてチーム会議員としてどのように活動を進めていくか」についてグループに分かれて議論を行った。各グループの議論では、「防災ガールの取組は大きなインパクトがあった」「正解を先輩方が決めないという趣旨は胸にささった」等、田中氏の発表について非常に参考になったとの共有が図られ、また各団体においての活動については田中氏の発表を踏まえて「次世代への働きかけについて工夫をしていきたい」「多様な意見を受け入れていくことが大事」などの意見が出た。

○最後に、徳倉コーディネーターより、今後のスケジュールについては事務局より改めて連絡することの連絡を行った。

以 上